

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	洛和福祉会	代表者	矢野 一郎	法人・事業所の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・追加利用等の即時対応 ・自己決定の尊重 ・誰でも発言できる環境 ・家族にニーズに合わせた環境 	<ul style="list-style-type: none"> ・御利用者様と共同で行う手作り食の提供 ・希望の休みが取りやすい環境
事業所名	洛和小規模多機能サービス山科小山	管理者	影山 秀隆			

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	0人	2人	0人	3人	1人	1人	2人	0人	9人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	運営推進会議参加者、利用者と家族が理解できる言葉を使用する	専門用語や略語を使用せずに丁寧に説明できている	改善と積極的に取り組む姿勢を感じる	運営推進会議に職員1名ずつ参加してもらい地域との関わり方を学ぶ
B. 事業所のしつらえ・環境	利用者様と御家族向けに入りやすさのアンケートを実施し職員が改善に取り組む	ウェルカムボードを使用して入りやすい雰囲気作りに努めている	お客さまの駐車場が分かりにくいため表示してほしい。 事業所として入りやすい雰囲気作りを心がけては。	お客様が来られた際に駐車に迷われることのないように表示する
C. 事業所と地域のかかわり	町内会の集まりに小規模の職員が参加する	地域ケア会議に参加できている	地域と事業所との関わりが継続することでさらに深まると思う	夏のラジオ体操の場所の提供だけではなく参加したり他の関わり方も検討していく
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	地域の行事やイベントを知るために回覧板を小規模職員が回覧する	前年度より参加する意識出来ているが御利用者様の参加までとなると参加出来ていない	職員間でも回覧板に目を通してもらっては。	回覧板に目を通してもらうことで地域との関わりというものを意識する
E. 運営推進会議を活かした取組み	運営推進会議で地域の心配な方についての事例検討を行う	地域の心配な方の情報が確認出来ていない為実施できず	地域包括が関る前に民生委員としての役割が昨日しているか	情報の開示と民生委員との関わりを構築していく
F. 事業所の防災・災害対策	地域の防災訓練に小規模の職員が参加する	地域の防災訓練の日程が把握出来ていないため参加できず	地域の防災訓練を知ることが出来ない	地域行事を前以て把握することで事前に人員の配置をする